

## 道州制導入も見据え

# 復興庁設置へ

# 基本法を修正

## 地元から被災地への支援

## 誠にありがとうございます

### ◆募金活動に感謝(3月)

▼ケンタ学生ボランティアが募金活動。3日までに55万円。自由日本赤十字社へ寄付

お取引内容	お取引金額(円)	手数料
振込	¥551,979	¥600
お取引後の残高(円)		おつり
振込先 株式会社ケンタ 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館414号室 TEL 03-3508-7266 FAX 03-3508-3536		

### ◆被災地ボランティア活動(4月)

▼親しい仲間と被災した民家の泥出し作業を行いました。被災地でのボランティア活動は大いなる支援の力を得ました。



### ◆支援物資のご協力(4月)



▼現地の声を聞き、一般には集めにくいタバコなどの嗜好品も支援

### ◆厚生労働委員会質問(5月)



▼被災地に寄付された薬の流通の問題点を指摘

### ◆大槌町に給水器を寄付(4月)

▼民間企業が申し出た給水器の寄付を大槌町(長右)に仲介



### ◆子供用自転車を(6月)

▼被災地に子供用自転車100台を寄付。ケンタを支援する実送の皆様が運搬



## 松浪ケンタのプロフィール

衆議院議員(当選3回)  
改革集団「新世紀」事務局長  
党シャドウキャビネット内閣府副大臣  
衆議院厚生労働委員  
衆議院青少年特委理事  
党道州制推進本部事務局長  
党NGO・NPO関係団体委員長  
【これまでの主な役職】  
内閣府大臣政務官(経済財政、規制改革、道州制、地方分権など担当)  
厚生労働大臣政務官(厚生担当)  
衆議院法務委員会理事  
衆議院環境委員会理事  
党国会対策副委員長

【経歴】  
元産経新聞記者  
昭和46年生、大阪府出身、清風高校を経て早稲田大学商学部卒、高槻市日吉台在住、家族は妻と長女  
【特技・趣味】  
プロボクサーライセンス取得、空手初段、ギター、オートバイ、魚・カメの飼育、英語(TOEIC Aレベル)



街宣バイク「ケンタ号」と

# 東北復興特区を提唱

自民、民主、公明、みんなの4党

## 超党派「道州制懇話会」を設立



事務局長として司会  
を務めた設立総会  
5月19日

### ◆失われた大連立

菅内閣に対する不信任騒動などで、日本の政治は末期的な様相を示し、政治家として恥ずかしく思います。

民主の無能と混乱は論外としても、自民党が明確なビジョンを描き、その受け皿として認められていないことが問題です。

私は未曾有の国難には大連立にもひるむべきではないと考えていましたが、菅総理は解散カードを得るために、与野党で合意した国会延長50日を覆し、さらに浜田政務官の一本釣りまで行いました。

これで完全に大連立の機運は失われました。小泉元総理が主張するように、自民党は健全野党として行動する以外に道がなくなったことは、罪深いことです。

### ◆東北復興に道州制生かす

与野党が激しく対立する中、私は党派を超えて、ライフワークである道州制を東北復興に生かすべく活動してきました。

5月19日には4党からなる超党派「道州制懇話会」が発足いたしました。共同代表には、江口克彦(みんな)、坂口力(公明)、小池百合子(自民)、松原仁(民主)の4国

会議員が就任＝上記写真の左から。私は事務局長を務めることになりました。

6月末時点で、参加国会議員は157人を数え、橋下徹知事ら、20人近い知事や政令市長も参加を表明しています。

まずは、東北復興特区を提唱し、中央省庁の縦割りの弊害を取り除き、創造的復興を目指します。

### ◆基本法に復興庁を明記

こうした小さな歩み寄りの結果、復興基本法は大きく修整されました。強力な権限を持つ新官庁の創設を求めていた自公両党の主張を取り入れ、復興担当の新官庁として「復興庁」設置が明記されました。

修正案は民主が自公の主張をほぼ丸呑みし、その役割も復興策の「企画・立案、総合調整」に加え、「事業の実施」も追加されました。

経済界も、復興後はすべての権限を広域自治体としての東北州に移し、道州制につなげるのが望ましい、と主張し始め、新しい国造りへの機運が高まってきました。



### ◀ 橋下知事が参加表明

松浪ケンタは6月19日、江口克彦参議院議員(みんなの党最高顧問)とともに、橋下徹知事と会談。超党派「道州制懇話会」への参加を要請し、橋下知事は「大阪都構想は道州制への一里塚です」と話し、快諾した。